

安江明夫氏 「学習院大学院アーカイブズ学専攻過程」での講義決定。 『記録史料保存論』の講師として授業を担当。

高埜利彦・学習院大学教授による「大学院アーカイブズ専攻過程」の開設を掲載している(p.16-17)。日本で初の大学院レベルでのアーカイブズ学専攻として来年4月にスタートする同過程は博士前期課程15名、博士後期課程3名、専任教員は5名を予定している。科目はコア科目、学際科目、応用科目に分かれ、コア科目(11科目)のひとつとしてアーカイブズ・マネジメント論研究Ⅲ(記録史料保存論)が設置されている。安江明夫氏(国立国会図書館顧問)が講師として担当する。

[全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)の『会報』(No.80、2007.11)より]

第3回アジア古籍保全講演会を開催 東京大学東洋文化研究所 「ビネガー・シンドローム」に関する講演も2題実施。(2007年11月20日)

「マイクロ資料の劣化—原因と対処」 安江明夫氏 (国立国会図書館顧問)

いわゆる「ビネガー・シンドローム」が発生する原因とメカニズムを紹介し、対象となるTACベースフィルムのケアと対策について、一次調査による状態の概要把握から、劣化フィルムを個別に調べて以後の対策につなげていく二次調査に至るまでの、基本的な考え方についての講演が行われました。



事例報告 東洋文化研究所図書室

「東洋文化研究所マイクロフィルム状態調査 —A-Dストリップを用いて」

所蔵するマイクロフィルム管理の現状と、安江氏による一次調査に対応するサンプル調査の方法等を紹介し、調査結果からTACベースフィルムのうち酸性劣化について早急な対策を取らなければならないものが2割以上にのぼることが推定され、これを材料に今後の劣化対策を検討していきたいという報告が行われました。



[東京大学東洋文化研究所図書室HPより抜粋]

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~library/index.html>

行政文書管理に関する国会質疑活発化 (H19. 10. 3~H20. 2. 8)

質疑場所	第168回国会 衆議院本会議	質疑概要
日時	平成19年10月3日	
質問者	長妻 昭	<ul style="list-style-type: none"> ・政府として戦争に関する公認記録を残す作業を開始すべき
	民主党・無所属クラブ	
答弁者	福田康夫	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公文書館、外交史料館、防衛研究所で保存している戦前戦中のアジア歴史資料については、インターネットで「アジア歴史資料センター」から閲覧可能。 ・今後とも歴史資料の収集、保存に力を入れて行く
	内閣総理大臣	

質疑場所	第168回国会 衆議院予算委員会	質疑概要
日時	平成19年10月16日	
質問者	浜四津 敏子	<ul style="list-style-type: none"> ・公文書保存のルールを法制化する必要性(何を、いつまで、どこで、どのように) ・国立公文書館が独立行政法人で使命を果たせるのか
	公明党	
答弁者	福田康夫	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の公文書保存体制は十分でありこれを充実させる。 ・公文書の保存によって日本の歴史を保存できる。 ・外交交渉においても日本の国益を守るために必要。
	内閣総理大臣	

質疑場所	第168回国会 参議院内閣委員会	質疑概要
日時	平成19年10月25日	
質問者	松村 龍二 自由民主党	・国立公文書館を独立行政法人から国の機関に戻すとの 考えか。
答弁者	渡辺善美 国務大臣	・検討中であり結論ではない。

質疑場所	第168回国会 衆議院	「政府の記録管理に関する質問」
内容	質問主意書	
質問者	近藤 昭一 民主党	・提出(H19.11.12) 1. 記録管理に関わる不祥事に対する認識は 2. 記録管理の法制化について 3. 行政省庁の記録管理のための独立組織設置の考えは 4. 公文書館の体制整備推進を継続するのか 5. 国立公文書館のあり方と充実させる方策の考え方 6. 半現用文書の中間書庫での管理についての考えは 7. 各省庁保存の戦時史料を国立公文書館に移管しアジア 歴史資料センターで公開したらどうか
答弁者	町村 信孝 内閣総理大臣臨時代理 国務大臣	・回答(H19.11.20) ⇒ 概ね質問主意に沿った答弁が成されている

質疑場所	第 168 回国会 参議院本会議	質疑概要
日時	平成19年11月28日	
質問者	西田 実仁 公明党	<ul style="list-style-type: none"> • 文書管理法の制定 • 公文書館の人材確保 • アーキビストの養成
答弁者	福田 康夫 内閣総理大臣	<ul style="list-style-type: none"> • 質問に沿った答弁が成された。

質疑場所	第 168 回国会 参議院決算委員会	質疑概要
日時	平成 19 年 12月10日	
質問者	藤本 祐司 民主党 新緑風会・日本	<ul style="list-style-type: none"> • 記録の考え方
答弁者	福田 康夫 内閣総理大臣	<ul style="list-style-type: none"> • 公文書は大事な記録文書ですので、国としてしっかり保管し必要に応じて国民に開示することが国の義務である

